編集後記

今からちょうど40年前の3月14日、千里丘陵で大阪万博が開幕した。その40周年を記念し、当時のパビリオンホステスのユニフォームが復元されるという。リニューアルされる鉄鋼館も「EXPO'70パビリオン」としてよみがえり、厳選された20着のユニフォームもそこでお披露目される。複製にあたってもっともモノをいったのは保存されていた実物資料である。もちろん当時の解説資料や写真なども参考になったし、デザイナーのコシノジュンコさんなども確認作業に立ち会っている。このように資料の保存と技術伝承者の存在はミュージアムにとってかけがえのない価値をもっている。

他方、世界中から収集された大阪万博の民族資料はそのほとんどが民博に移管され、ひとつのまとまったコレクションとして保存されている。展示場にも多数活用されているが、それを上まわるコレクションが本号で特集したアチック・ミューゼアム以来の標本資料である。このふたつのコレクションのおかげで、民博は創設のレゾンデートル（存在価値）を確保したといっても過言ではない。（中牧弘允）

次号の予告

みんぱくインタビュー

辻　信一

月刊みんぱく
2010年3月号
第34巻第3号通巻第390号　2010年3月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　西尾哲夫
編集委員　久保正敏（編集長）　佐々木史郎　庄司博史
中牧弘允　信田敏宏　山中由里子
協力　財団法人 千里文化財団
制作　京都通信社
印刷　市蔵図書

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

●予定時間　14時30分から15時30分（予定）。
●常設展示場観覧料が必要です。
＊都合により、予定を変更することもあります。

国立民族学博物館（みんぱく）の研究者が、来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」などなど、話題や内容は千差万別！
どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしています。

3月の開催

3月7日（日）
話者：笹原亮二（民族文化研究部准教授）
話題：オニはオニ?―奥三河の花まつりを巡って―
場所：常設展示場内

3月21日（日）
話者：出口正之（文化資源研究センター教授）
話題：民博とボランティア
場所：展示場内休憩所

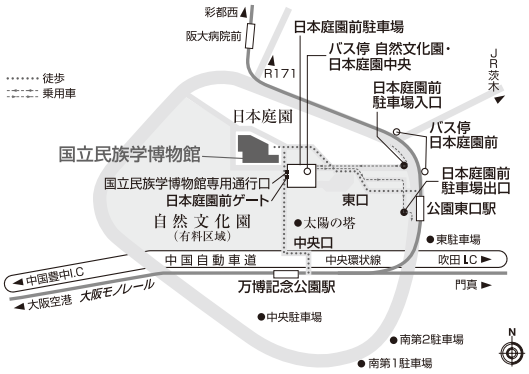
3月28日（日）
話者：佐々木利和（先端人類科学研究部教授）
話題：チセのはなし
場所：アイヌの文化展示

1年間みんぱくに何度でも入館できる
「みんぱくフリーパス（3,000円）」をご利用ください。
常設展は何度でも無料で入館できます。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

特典◆常設展の無料入館◆特別展の観覧料割引
◆みんぱくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引　など。

詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話06−6877−8893／平日9：00〜17：00）

訂正とお詫び
『月刊みんぱく』2010年2月号22ページ「フィールドで考える」に掲載の地図に誤りがありました。赤道を、実際よりも約556km（地図上では約5mm）北に表示しています。謹んでお詫びし訂正いたします。



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください）。
●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/